

令和7年(2025年)7月2日(水曜日)

源兵衛川の魅力 漫画に



GW三島が作成

歴史や役割、生態系紹介

三島市のNPO法人グラウンドワーク(GW)三島が、市内を流れる世界かんがい施設遺産「源兵衛川」にまつわる漫画「げんべえがわ物語」を作成した。1日には同市の南小を訪れて4年生約80人に届け、源兵衛川を守り続けてきた人々の活動や思いについて紹介した。

A4判32ページで約3500部作成し、室町時代に市南部の中郷地区の米作りに役立てるため整備された源兵衛川の役割や歴史、生態系を紹介している。江戸時代からタイムスリップした少年と少女が、用水源となる楽寿園の小浜池から中郷温水池まで下りながら川の特徴を学んでいく物語とした。絶滅危惧種のホトケドジョウやミシマバイカモの存在、湧水量の減少などにより汚れた川を復活させた市民や企業、行政の一体となった取り組みなどを伝える。

この日は同時に作成した動画を使い、地域の歴史や自然を学ぶ児童に源兵衛川の魅力を示した。渡辺豊博専務理事は「源兵衛川がどんなに素晴らしい歴史があり、この地域の米作りに役立っているか、家族に教えてほしい」と話した。

今後も源兵衛川の恩恵を受ける市内の小中学校を中心に outgoing、漫画を児童生徒約3千人に配る。同市芝本町のGW三島の事務所でも無料配布している。(三島支局・岡田拓也)

源兵衛川の役割や歴史を紹介する漫画を見る児童＝三島市の南小